



1月8日、「市消防出初式」による壮観な一斉放水！<オーエンス文化会館駐車場にて>



地域福祉社会の実現に向け 福祉施策にどう取り組むか

公明党 松澤 堅一

問 わが国の福祉のあり方を考えると、公的な福祉サービスの充実課題とともに、地域の身近な生活課題は地域で支え合う地域福祉社会の構築が必要である。高齢者福祉対策では地域包括ケアシステムの構築を進めているとのことだが、医療との連携にどう取り組んでいくのか。農業と福

答 医療職と介護職のさらなる連携強化を図るため、医療介護連携推進会議や専門職

の連携により、障がい者の就労問題に取り組んでいる事例もあるが、就労支援への考えはどうか。児童虐待への対策は、設置予定の子育て世代包括支援センターでどう取り組むのか。地域福祉社会を充実させるための人材確保や育成をどう考えているのか。

福祉の連携により、障がい者の就労問題に取り組んでいる事例もあるが、就労支援への考えはどうか。児童虐待への対策は、設置予定の子育て世代包括支援センターでどう取り組むのか。地域福祉社会を充実させるための人材確保や育成をどう考えているのか。

研修会を開催している。就労支援は、国が障がい者就労施設の農業への取り組み状況の紹介やイベントを開催しているが、近隣の状況を見ながら研究していきたい。子育て世代包括支援センターでは、保健師などにより妊娠や子育ての不安、孤立などに対応し、児童虐待のリスク低減に努めていきたい。市社会福祉協議会による人材育成や専門性を高める研修に加え、新たな人材確保に向けて中学生、高校生を対象にボランティア体験などを実施している。

(ほかに「落合・吉岡地区のまちづくりについて」を質問)

高齢者の運転免許証を自主返納する支援事業の改善を



公明党 三谷 小鶴

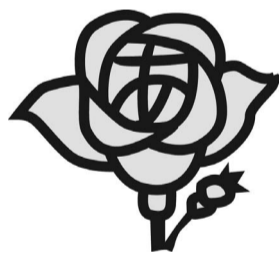
問 65歳以上の運転免許証保有者は、高齢化進行とともに増加が予想され、認知機能低下による、運転操作誤りなどが原因の重大事故も年々増加している。市では、平成23年度から大和警察署に運転免許証を自主返納した高齢者に、1年間の有効期限付き市コミュニティバス無料乗車回数券50枚を交付する支援事業を県内で唯一実施している。申請

答 市では、大和警察署などへ免許証返納時に制度の周知を依頼しており、申請者の多くは返納当日または数日以内に手続きされるため、申請期限は引き続き3カ月以内とし、申請忘れが無いよう広報紙などで周知を図っていきたい。バス無料乗車券の有効期限は、1年間で月に2往復4枚程度を想定しており、バスの利用促進という考えもあるため、現在見直す予定は無い。また、この支援は県内で唯一本市が行っている事業であり、事故の加害者となる危険性などを周知し、自主返納への理解を深めながら効果的な事例の情報を収集していく。

(ほかに「認知症に関する諸施策について」を質問)



「綾瀬イルミネーション」が昨年12月3日から1月14日まで開催されました



市の花 「ばら」

第4次厚木爆音訴訟判決後の騒音に対する市の対策は



二見 昇

問 第4次厚木爆音訴訟の最高裁判所判決は、高等裁判所判決で示した自衛隊機の夜間飛行差し止めと、将来分の損害賠償を棄却した。さらに訴訟団の米軍ジェット機の飛行差し止め請求の原告を受理しなかったことで、今後変わることもなく、爆音は続くと考えられる。このような状況の

答 原告団の活動により、騒音の違法性を司法が認めたことや、議会、市基地対策協議会などと騒音解消を訴え続け

中、爆音のない静かな環境を取り戻すため、平成29年度に予定されている空母艦載機の岩国基地への移駐は必要であると考えているが、進捗状況は。また、庁舎東側の基地問題に関する市民宣伝用の横断幕を引き続き掲げないか。

厚木基地は、観光振興計画「素敵なあやせ観光まちづくりプラン」で観光資源という視点で捉えており、今後、基地と連携し、基地を活用したツアーの実施も検討していく。

(ほかに「特産品(土産となる品)づくりについて」を質問)

た活動が、空母艦載機部隊の移駐を日米で合意するに至った要因の一つと考えている。国の説明では、平成29年ごろの岩国基地への移駐に向け、施設整備は順調に進捗しているとのことだが、詳細な日程は明らかにされていないため、引き続き確実な実施を求めていく。また、横断幕は市民の基地問題への関心を高める成果があると考えており、引き続き掲げしていきたい。

(ほかに「落合北の矢板の堰の撤去と遊水池の設置時期について」「長坂橋南側の比留川左岸(市道1380号線)舗装整備について」を質問)

インター開通に伴い魅力ある観光資源の開発を



あやせ未来会議 増田淳一郎

問 (仮称)綾瀬スマートインターチェンジの開通により、自動車交通の利便性が格段に向上することから、多くの方に綾瀬を訪れてもらい、魅力を感じてもらうために、観光資源の開発が必要と考える。神崎遺跡が本市で初の国指定史跡となり、平成28年5月1日に資料館が開館した。この資料館を活用し、神崎遺跡と蟹ヶ谷公園を結び、ウオ

ーキングコースとするツアーなどを企画してはどうか。また、在日米海軍や海上自衛隊に協力を求め、厚木基地内の桜が咲くころに、期間限定でバスによる基地内の見学会などを実施する考えはないか。

答 平成28年度に初めて旅行会社に委託し、神崎遺跡資料館をはじめ、市内の商店や飲食店、農園を活用した市内巡りバスツアーを実施した。今後も神崎遺跡資料館を含め、市内既存の観光資源を活用した観光事業の展開や、神崎遺跡や蟹ヶ谷公園、市内の公園などをつなぎ合わせ、本市の特色ある観光資源を活用し、付加価値を持たせるツアーを実施していきたい。また、厚木基地は、観光振興計画「素敵なあやせ観光まちづくりプラン」で観光資源という視点で捉えており、今後、基地と連携し、基地を活用したツアーの実施も検討していく。

(ほかに「特産品(土産となる品)づくりについて」を質問)